別記第６号様式

地域再生プロジェクトの実施結果調書

実施主体（市町村名）	森　　町

１　地域再生プロジェクトの実施結果（プロジェクト全体）

地域再生プロジェクト名	森町健康・福祉ふれあいプロジェクト ～こころふれあう　はつらつとした　爽やかなまち～	実施期間	平成２３年度～平成２４年度	事業区分	新規・継続 ２年計画のうち２年目
実施主体	市町村名：森町 民間団体名：森町食生活改善協議会				計　１市町村 １団　体
格差の分野	社会構造の格差				
地域再生プロジェクトの目標	（地域の現状・課題）　当町は、平成 17 年 4 月 1 日、道内の新設合併第１号として、文化を共有し、町民の生活圏や産業基盤などの経済活動が古くから密接な関係を持つ、旧森町と旧砂原町がひとつになり誕生した。合併後のまちづくりにおいては、早急に一体化を図り、合併効果を高め、行財政の効率化を進めるとともに、自主自立のまちづくりに向けた各種施策を実施してきたが、国保病院の赤字や地方債の償還等により厳しい財政状況となっている。 町の人口は、少子高齢化や過疎地の進行で減少が続いており、過疎化はコミュニティの本質である住民相互の交流･支え合いが困難となり、地域コミュニティ機能の弱体化に繋がりかねない。 また、高齢化の進展により要介護者も増加してきている一方、国保病院は、医師不足により夜間の患者受け入れ（救急搬送は除く）が困難な状況にあり、保健医療福祉の連携による町民の健康･福祉の充実が命題となっている。 第一次森町総合開発振興計画アンケート結果では、まちづくりの中心戦略プロジェクト「健康･安心福祉プロジェクト」のニーズが 71.8%と最も高くなっていることから、平成 22 年度から２ヵ年で森町健康づくりアクションプランを策定し、健康現状を的確に把握し、その現状の改善を目指す具体的な目標設定やアクションプランを設定することとした。 （プロジェクトの目標）　当町の死亡要因上位は、がん･心臓疾患･脳疾患となっており、平均寿命（平成 17 年度男性：全国 78.8 歳、全道 78.3 歳、森町 75.7 歳）、介護保険認定者数の割合（平成 20 年度 全道平均 16.7%、平成 21 年度 森町 18.9%）、介護保険給付費（平成 20 年度 全道平均 206 千円、平成 21 年度 森町 233 千円）等に大きな影響を及ぼしている。 そのため、本プロジェクトでは、「森町健康･福祉ふれあいプロジェクト」を推進し、町民一人ひとりが健康対策に積極的に関心を持ち、「自分の健康は自分で守る」という基本的な考えにたち、気軽に個々人の健康状態に応じた健康づくりに取組めるよう、町内会をはじめ基幹産業である地域の産業団体（漁協･ＪＡ）や経済団体等と行政が協働で取組み、健康に対する知識と自主的な健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸、健康高齢者のための意識の高揚と地域で支え合う身近な地域社会における福祉ネットワークの構築を目指していく。				

取組の成果	目標の達成度	設定目標（項目）	現状値（平成２１年）※計画段階の最新統計	支援期間終了後の成果目標（平成２４年）	左記の目標に対する現時点の達成状況（平成２３年）※現段階の最新統計
		平均寿命	７５．７歳（Ｈ１７）	７６．７歳	７５．７歳（Ｈ１７）
		介護保険認定者数の割合	１８．９％	１８．９％	２０．２％
		介護保険給付費	２３３千円	２３３千円	２５３千円

<table>
<tr><td rowspan="3"></td><td>具体的な効果</td><td>⑴　健康関連事業を行う関係各課との連携により事業内容が拡大、健診受診者が増加した。
⑵　脳血管疾患の早期発見、予防意識の向上が図られた。
⑶　関係団体や企業等と健康への取り組みの必要性を共有し、健康づくりプロジェクト委員会の組織化により継続的な取り組みが可能となり、個人の取り組みを強化する体制が整備された。</td></tr>
<tr><td>計画の達成度</td><td>当該年度に計画した事業については予定どおり実施できた。
死亡要因となる疾患を未然に防ぐためにも各健診の受診が有効となることから、受診率の向上を目指した結果、平成 22 年度対比で、特定健診 116.8%、胃がん検診 147.4%、大腸がん検診 124.7%、肺がん検診 116.4%と受診率が向上した。
町民一人ひとりが健康対策に積極的に関心を持ち、個々人の健康状態に応じた健康づくりに取り組めるよう、町内各団体・関係機関と協働で健康づくりアクションプランを策定し、実行推進できた。</td></tr>
<tr><td>住民等の評価</td><td>健診ＰＲのために町民の集会等に出向いた際には、受診率向上に向けて更に啓発活動を強化すべきだとの声も聞かれた。
また、商店街に健診啓発ポスターの掲示を依頼した事がきっかけで検診を受けた店主が、大腸がんの早期発見・早期治療につながったことから、その後自らが周囲への啓発活動を始めるなど住民の理解と、具体的な行動につながっている。
健康づくりプロジェクト会議では、委員が森町の健康課題や健康づくり対策の必要性に理解を示し、所属する団体や企業において、個人の健康づくり行動を後押しする環境づくりをして行きたいとの積極的な意見も出されている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プロジェクト推進上の課題・問題点</td><td colspan="2">（課題・問題点等）
健診受診率がやや増加するなど一定の成果は出ているが、壮年層の受診が少ない状況となっている。
早逝予防のためには疾病の早期発見や生活習慣の改善など自分自身の健康に関心を持ち、より健康であろうとする意識の醸成が必要である。</td></tr>
<tr><td colspan="2">（課題・問題点の把握、成果効果の検証、フォローアップを踏まえた今後の展開）
健康づくりプロジェクト会議を核として、町民・企業・地域の関係団体との協働を一層深め、健康づくりアクションプランをより具体的に推進して行く。
健診受診率向上のため、町民の健康管理意識の醸成を図り、健診のＰＲ、受診勧奨の取り組みを継続的に行っていく。</td></tr>
</table>

２　地域再生プロジェクトの構成事業
（１）実施計画の達成状況等

No	事業名	事業概要	実施状況		効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容		
1	健幸さくさくポイント事業	町で実施する健康関連事業のうち、該当する事業に参加することでポイントを付与し、貯まったポイントを景品に交換できる事業であり、各種健診等への関心、参加率の向上を目的としている。	平成２３年度	保健センター・公民館・体育課・生涯学習課等関係課の協働により、各種健診を中心とする 38 事業を該当事業に選定し、町民にポイントカードを配付。事業参加毎に 1～3 ポイントを付与し、ポイント数に応じて景品と交換した。 【総事業参加人数】　4,620 人 【総支出ポイント】　10,480P	【効果】 健康関連事業をおこなう関係各課との協働により事業内容が拡大 【課題】 ポイント事業の認知度が低く、十分に利用されていない状況にある。	ポイント事業については、広報紙への周知掲載や折込チラシの配布、ポスター掲示（町内７か所）によるＰＲ活動の実施。特定健診対象者へ受診券送付時にチラシとポイントカードの同封によるＰＲ活動の実施。
			平成２４年度	事業評価により、更に効果的な方法となるように初年度の内容に改良を加えながら、継続実施した。 【総事業参加人数】　5,217 人 【総支出ポイント】　12,098Ｐ ■　特定健診対象者へ受診券と共にポイントカード送付 ■　健診受診率向上を目指し、町内会総会等で啓発、街頭、イベントにおいてＰＲ活動を実施	【効果】 事業参加者の増加があり、ポイントの景品交換率は前年よりもアップした。 【課題】 健診については、新規受診者が少なく、動機づけとなるＰＲ方法の工夫が必要。	健幸さくさくポイントカードは、新規参加者の獲得効果が薄かったことから 24 年度で終了することとし、今後は各種媒体を活用し健診等のＰＲ活動を継続的に取り組んで行く。
2	簡易脳検診事業	脳血管疾患は、死亡原因で上位を占め、特に当町では 30 代からの死亡例もあり、平均寿命を引き下げる要因となっている。また、脳卒中後遺症者の多くが要介護状態となっていることから、介護保険認定者数にも直接影響している。そこで、症状のない時期に脳のＭＲＩ、ＭＲＡ検査を受ける事により、脳血管疾患の早期発見・早期治療を期待するものである。	平成２３年度	30 歳から 69 歳の町民を対象とし、脳外科病院において検査・診断が受けられる簡易脳検診を実施した。 【実施人数】　126 名	【効果】 脳血管疾患の早期発見、予防意識の向上につながった。 【課題】 新規受診者が少ない。	各町内会総会に合わせて各健診ＰＲの実施（42 町内会）。 各種イベント（まつり等）やスーパー等の駐車場で健診ＰＲ活動の実施。
			平成２４年度	30 歳から 69 歳の町民（前年度受診者は除く）を対象に脳外科専門医において検査・診断が受けられる簡易脳検診を実施する。 【実施人数】　127 名	【効果】 脳血管疾患の早期発見、予防意識の向上が図られた。 【課題】 受診者の固定化傾向、若年層が少ない。	新規受診者を優先し、医療機関との連携を図りながら予約者の変更等速やかに対応し、受診後のフォローに努める。

No	事業名	事業概要	実施状況		効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容		
3	健康づくり計画策定事業	商工会・ＪＡ・漁協・保育所・学校・健康推進委員会等関係団体による「健康づくりプロジェクト会議」を推進母体として組織化し、町民の健康問題の把握・分析と、問題改善に向けた具体的な目標の設定や行動内容を主軸とする「森町健康づくりアクションプラン」を策定し、町民の自主的な健康づくり行動の実践を推進する。	平成２３年度	町民各年齢層にアンケート調査を実施。また、関係団体・町民等へのグループインタビューにより健康問題の把握に努める。その後「健康づくりプロジェクト会議」を設置し、２回の会議を経て「森町健康づくりアクションプラン」を策定した。 【成果物】 ・森町健康づくりアクションプラン ・森町健康づくりアクションプランダイジェスト版	【効果】 関係団体や企業等と健康への取組み 【課題】 町民の健康への関心は低い状況にあり、個人や組織、地域における健康行動への更なる動機づけが必要である。	町民への周知（健康づくり計画ダイジェスト版の配布）を図り、保育所・学校・企業・団体等のそれぞれがおこなう具体的なアクションプランの推進に向け、協働で進行管理をおこなっていく。また、行政の取組みとして計画した内容に沿って様々な取り組みを実現していく。
			平成２４年度	・森町健康づくりプロジェクト委員会 ２回開催 ・保育所、学校、地元企業、商工会議所等関係団体がそれぞれに作成した計画を基に健康づくりの取り組みを行った。 ・学校、団体へ万歩計や体重計、アルコール模型等の貸し出し ・甘味飲料ポスター、間食（砂糖量）ポスター、禁煙ポスター、アルコール抑制ポスター等を掲示 ・各団体へ健診啓発のぼり旗、ＰＲ用マグネットシール（車用）を配布しＰＲ活動に参画してもらう。 ・漁業関係者に健康づくりアンケート調査を実施。	【効果】 「森町健康づくりアクションプラン」の実行１年目として、プロジェクト委員のメンバーと協働で推進して来たことから、委員自身に積極的な健康づくりへの意識が芽生えつつある 【課題】 メンバーの所属する企業、団体等への波及効果は、取り組み１年目では、なかなか見えて来ない。	健康づくりプロジェクト委員会を中心に、各団体等において「森町健康づくりアクションプラン」の具現化が図られるよう、連携・協働の体制を強化しながら、進行管理をして行く。 策定５年目には中間評価を行う。

※「地域再生プロジェクト計画書」（別記第１号様式）及び「地域再生プロジェクト調書」（別記第３号様式）の記載との整合に留意すること

（２）実績額

（単位：千円）

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財源内訳 国庫補助金等	道補助金等	市町村補助等 補助金等	委託費	市町村自己財源	民間等自己財源	その他	交付金充当額（充当要望額）
1	健幸さくさくポイント事業	H２３～H２４	全体計画	23,404					23,264	140		13,122
			平成２３年度	12,168					12,028	140		7,840
	森町・森町食生活改善協議会		平成２４年度	11,236					11,236	0		5,282
2	簡易脳検診	H２３～H２４	全体計画	1,907					1,907			0
			平成２３年度	945					945			0
	森町		平成２４年度	962					962			0
3	健康づくり計画策定事業	H２３～H２４	全体計画	1,285					1,285			978
			平成２３年度	664					664			560
	森町		平成２４年度	621					621			418
4		H～H	全体計画									
			平成　年度									
			平成　年度									
5		H～H	全体計画									
			平成　年度									
			平成　年度									
計	事業数[3]	H２３～H２４	全体計画	26,596					26,456	140		14,100
			平成２３年度	13,777					13,637	140		8,400
			平成２４年度	12,819					12,819	0		5,700

※「地域再生プロジェクト事業予定調書」（別記第２号様式）及び「地域再生プロジェクト調書」（別記第３号様式）の記載との整合に留意すること